

「生物多様性の回復に向けた在来種植栽フォーラム」 開催のお知らせ

都は、生物多様性の回復に向けた取組の一つとして、東京在来の生きものの生息空間の拡大に貢献する、在来植物による緑化を推進しています。

今年度から、都は在来種植栽を有する下記3事業者と協定を締結して、在来種植栽の管理手法に関する実証実験等を進めていますが、この度、検討経過を報告するとともに、在来種植栽という新しい緑化が持つ今後の可能性について、幅広い視点から議論するフォーラムを開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。

1 フォーラムの概要

主 催：東京都

共 催：株式会社フジクラ、三井住友海上火災保険株式会社、森ビル株式会社

日 時：平成 27 年 1 月 29 日（木）14：00～16：30（受付開始 13：30）

場 所：都庁第一本庁舎北側5階 大会議場（案内図をご参照ください）

参加費：無料 定員：450 名（先着順）

2 プログラム

(1) 基調講演 横張 真 東京大学大学院工学系研究科教授
「現代の東京で自然を考える」

(2) 事例報告 株式会社フジクラ、三井住友海上火災保険株式会社
森ビル株式会社、東京都環境局

(3) パネルディスカッション
「なぜ今、在来種を植えるのか～在来種植栽の意義と管理～」

3 申込方法

ファックスまたはメールにて、必要事項 ①催し名（在来種植栽フォーラム）
②参加者全員の氏名・ふりがな ③代表者の連絡先（電話番号、ファックス番号またはメールアドレス）を記載し、下記あてにお申込みください。

申込締切：平成 27 年 1 月 20 日（火）

申込書を使用する場合は、下記案内ホームページからダウンロードできます。
参加の可否については、1 月中旬にファックスまたはメールでお知らせします。

【案内ホームページ】

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/green/edo_midori/index.html

【申込先ファックス】 03-3409-3862

【申込先メールアドレス】 MLzairai@ml.serco.co.jp

（申込窓口：株式会社セルコ）

<問い合わせ先>

環境局 自然環境部 計画課

担当：内藤、小石

内線： 42-650、42-635

直通： 03-5388-3469

《「江戸のみどり復活事業」について》

「江戸のみどり復活事業（官民連携）」とは、都と先駆的な在来種植栽を行っている企業が連携して、実際の植栽地をフィールドとして活用しながら植栽管理上の課題解決策を検証するとともに、関係業界が参画する「在来種植栽の管理等に関する検討会」（以下「検討会」という。）を立ち上げ、在来種植栽の本格的普及に向けた取組方策や、効果的な普及啓発策を多角的に検討するものです。

「検討会」で得られた知見を広く発信することで、都民・民間事業者等に在来種植栽（生物多様性）に対する理解を促進します。

【都庁への案内図】



- 「JR 新宿駅」（西口から徒歩約 10 分）
- 都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」
- 新宿駅西口（地下バスのりば）から都営バス又は京王バス（都庁循環）『都庁第一本庁舎』下車
- JR 新宿駅西口『新宿駅西口』バス停から『西新宿・都庁本庁舎方面』行きの新宿WEバス乗車、『都庁本庁舎』下車

【大会議場への案内】

- 都庁第一本庁舎5階
北側エレベーターホールから、Cエレベーター（緑色）をご利用ください。

～東京の新たな都市緑化を目指して～
「江戸のみどり復活事業」

生物多様性の回復に向けた 在来種植栽フォーラム

開催日時：平成27年1月29日(木) 14:00～16:30(受付開始13:30)

開催場所：東京都庁第一本庁舎北側5階 大会議場

主 催：東京都

共 催：株式会社フジクラ、三井住友海上火災保険株式会社、森ビル株式会社

参加費：無料

定 員：450名

「江戸のみどり復活事業」とは、生物多様性を回復させる取組の一つとして、東京都と先駆的な在来種植栽を行っている企業が連携して、実際の植栽地をフィールドとして活用しながら、在来種植栽の管理方法や効果的な普及啓発策等を多角的に検討する事業です。

本フォーラムでは、事業の検討経過を報告するとともに、在来種植栽という新たな緑化が持つ今後の可能性を現場から探ります。

基調講演

「現代の東京で自然を考える」

講演者

横張 真 東京大学大学院工学系研究科教授

事例報告

「江戸のみどり復活事業」参画企業

株式会社フジクラ

三井住友海上火災保険株式会社

森ビル株式会社

東京都環境局

パネルディスカッション

「なぜ今、在来種を植えるのか～在来種植栽の意義と管理～」

コーディネーター

三輪 隆 一般社団法人企業と生物多様性イニシアチブ 持続的土地利用WGリーダー
(株式会社竹中工務店技術研究所)

パネリスト

横張 真 東京大学大学院工学系研究科教授

田邊 雄索 株式会社フジクラ 不動産カンパニー 開発プロジェクトマネージャー

浦嶋 裕子 三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室 課長代理

峰崎 善次 森ビル株式会社 環境推進室 参加

梅田 光司 東京都植木農業協同組合 代表理事 組合長

内藤 義和 東京都環境局自然環境部計画課 緑施策推進担当課長



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



東京大学大学院
工学系研究科教授 横張 真
博士(農学)緑地環境計画専門。
1986年農林水産省入省、筑波
大学社会学系助教授、同大
学大学院教授、東京大学大
学院新領域創成科学研究科教
授を経て、2013年より現職。
日本都市計画学会副会長。

「現代の東京で自然を考える」

東京には、奥多摩の山地から湾岸部、さらには島嶼に至るまで、様々な自然環境があり、そこに多くの生き物が暮らしています。1,000万人以上が暮らす巨大都市・東京における自然を考える際にも、まず、そうした多様で豊かな地盤の上に、東京の街が形成されていることを忘れてはならないと思います。

しかし、現代の東京の街は、土地も水系も気候も、地の自然とはかけ離れた空間となっています。人工の地盤や河川、温暖化した気候が、今の東京の街の基盤をなしています。豊かな地の自然と、人工改変された自然。両者が複雑に絡み合いながらレイヤーされた上に成立しているのが、現代の東京の自然です。

そんな東京の街で自然を考える上では、どのようなコンセプトが必要なのか。人と自然は、どのような関係性を築いたらよいのか。ここでは、国内外の事例を参照しつつ、現代の東京における自然の保全や創出のあり方について、考えてみたいと思います。

事例報告「江戸のみどり復活事業」参画企業

株式会社フジクラ

江東区木場の「深川ギャザリア」の一角に生物保護と自然鑑賞の二つを目的にして、池と流れと樹林で江戸期の自然を再現する「フジクラ 木場千年の森」を設置しました。3年の月日は豊かな動植物を育てました。植栽は全てが在来種です。本事業では、在来種植栽の諸課題、利用者意識調査、モニタリング手法を検討しています。



三井住友海上火災保険株式会社

千代田区神田駿河台の駿河台ビル・駿河台新館は、総敷地面積の40%以上に相当する緑地で覆われています。皇居と上野公園をつなぐエコロジカル・ネットワークの形成を目的に、在来種中心の鳥や蝶が好む樹種を植栽しているほか、薬剤散布に頼らない緑地管理を実施し、その効果を継続的にモニタリングするなど、在来種植栽の効果・検証を進めています。



森ビル株式会社

港区六本木近辺のアークヒルズ仙石山森タワーは、在来の植物による高中低木から地被類までの林層構成をもち、生きもののすみかとなる枯れ木の設置や、敷地の表土を保存・利用するなど、生物多様性に配慮しています。本事業では、捕食動物の活用による害虫発生抑制や在来種植栽の維持管理コスト削減等の対策・検証に取り組んでいます。



生物多様性の回復に向けた在来種植栽フォーラム

申込期間：平成26年12月8日（月）から平成27年1月20日（火）

定員：450名（先着順）

申込方法：ファックスまたはメールにて、①催し名（在来種植栽フォーラム）、②参加者全員の氏名・ふりがな、③代表者の連絡先（電話番号、ファックス番号またはメールアドレス）を記載し、下記あてにお申込ください。申込書を使用する場合は、下記案内ホームページからダウンロードできます。参加の可否については、ファックスまたはメールにてお知らせします。

【案内ホームページ】

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/green/edo_midori/index.html

【申込先ファックス】03-3409-3862

【申込先メールアドレス】MLzairai@ml.serco.co.jp（申込窓口：株式会社セルコ）

問合せ先：東京都環境局自然環境部計画課 03-5388-3548（直通）

